

全国知事会緊急提言への国の対応状況と今後の課題 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種特別対策チーム(システム担当)

◆全国知事会緊急提言への国の対応状況

- ✓ VRSについて、国として直ちに、制度やシステムの詳細を決定し、自治体等に対して速やかに情報提供を行うこと

⇒ 3月5日付け事務連絡「ワクチン接種記録システム（VRS）への御協力のお願い」及び「ワクチン接種記録システム第二回自治体向け説明会」（3月10日開催）等により、システムの概要や、準備作業、スケジュール等が示された。

- ✓ 接種履歴を正しく迅速に入力できるよう、入力方法は出来る限り簡易なものとする

⇒ VRSにおける接種履歴の入力は、国から配付されるタブレット端末で予診票を読み取る簡易な方法とされた。

1

全国知事会緊急提言への国の対応状況と今後の課題 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種特別対策チーム(システム担当)

◆全国知事会緊急提言への国の対応状況

- ✓ VRSについて、従来のマイナンバーに関する取扱いと相反する仕組みに疑義を示す意見が多く寄せられていることから、マイナンバー法等の現行制度との整合性を関係省庁間で十分に協議・検討の上、問題ないことを、その理由付けも含めて整理し、明らかにすること。

⇒ 3月5日付け事務連絡「ワクチン接種記録システム（VRS）への御協力のお願い」や、政府CIOポータルに提示されたFAQ質問集において、VRSにおけるマイナンバー取扱いについては、番号法第9条1項別表第一の十（「予防接種法による予防接種の実施」）等に該当し、特定個人情報の提供については、番号法第19条第15号（「人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合において、本人の同意があり、又は本人の同意を得ることが困難であるとき」）に該当し、VRSの取扱いが許容されるものと整理された。

2

全国知事会緊急提言への国の対応状況と今後の課題

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種特別対策チーム(システム担当)

◆今後の課題

- ✓ システムに関する速やかな情報提供と、運用に当たっての検証・改善が必要

<必要な措置等>

- システムに関する速やかな情報提供
- 高齢者優先接種(先行接種)で検証を行い、洗い出された課題の早期改善

- ✓ VRSへの接種情報の登録を確実に実施するため、データ入力の支援とトラブルへの迅速な対応が必要

<必要な措置等>

- 動画等による操作マニュアルの作成・配布
- 遠隔サポート体制の構築
- タブレット端末の予備機配布

3

全国知事会緊急提言への国の対応状況と今後の課題

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種特別対策チーム(システム担当)

◆今後の課題

- ✓ V-SYSで基本型→基本型の融通ができないことや施設類型を変更できる場合が限定されているため、現場の実情に合わせた改善が必要

<必要な措置等>

- 自治体におけるワクチンの様々な配分方法に柔軟に対応できるようにV-SYSを改善

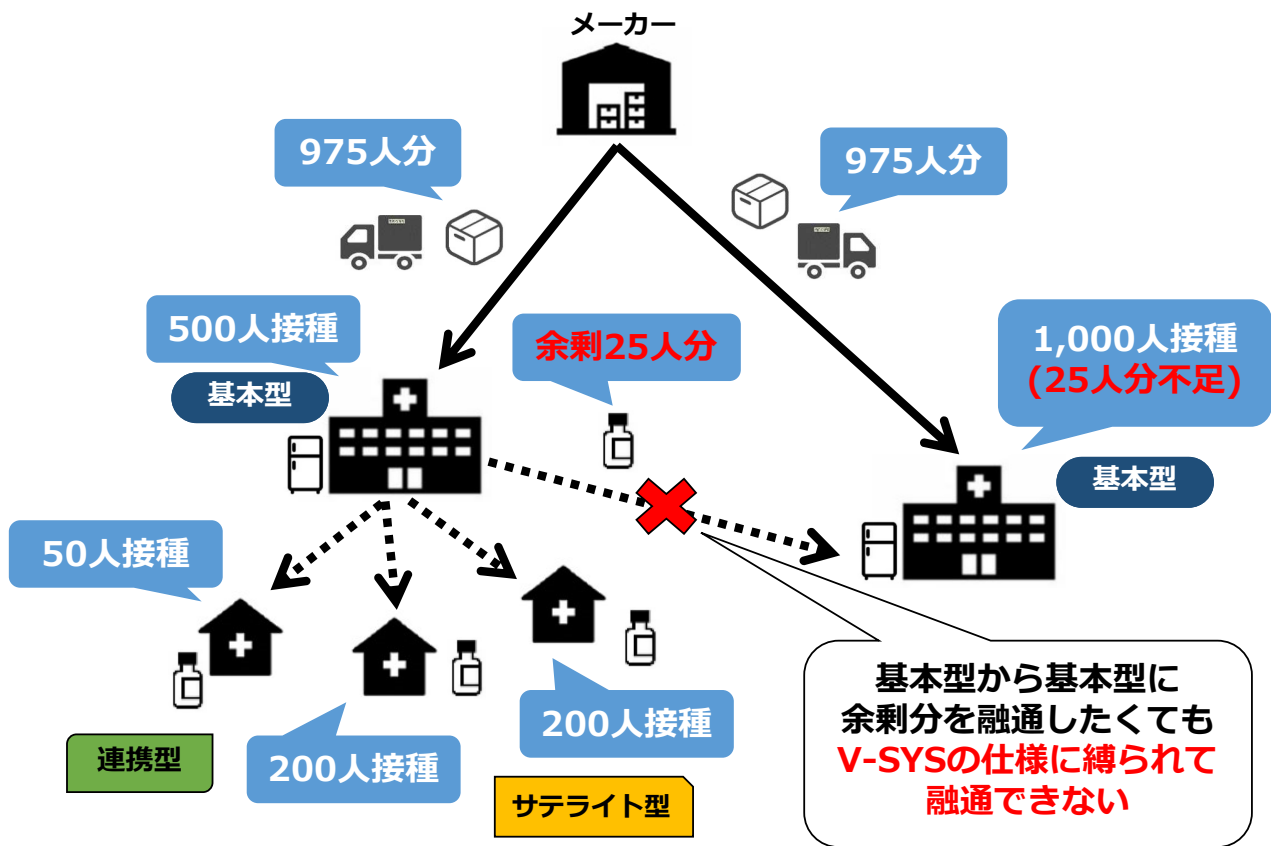
- ✓ VRSは、USBメモリ等を介してCSV形式で登録・更新する仕様となっていることから、市町村が適切に情報漏えい防止の措置を講じることができるよう、国による措置が必要

<必要な措置等>

- 具体的な作業手順や留意事項について、国によるガイドラインの策定と周知徹底

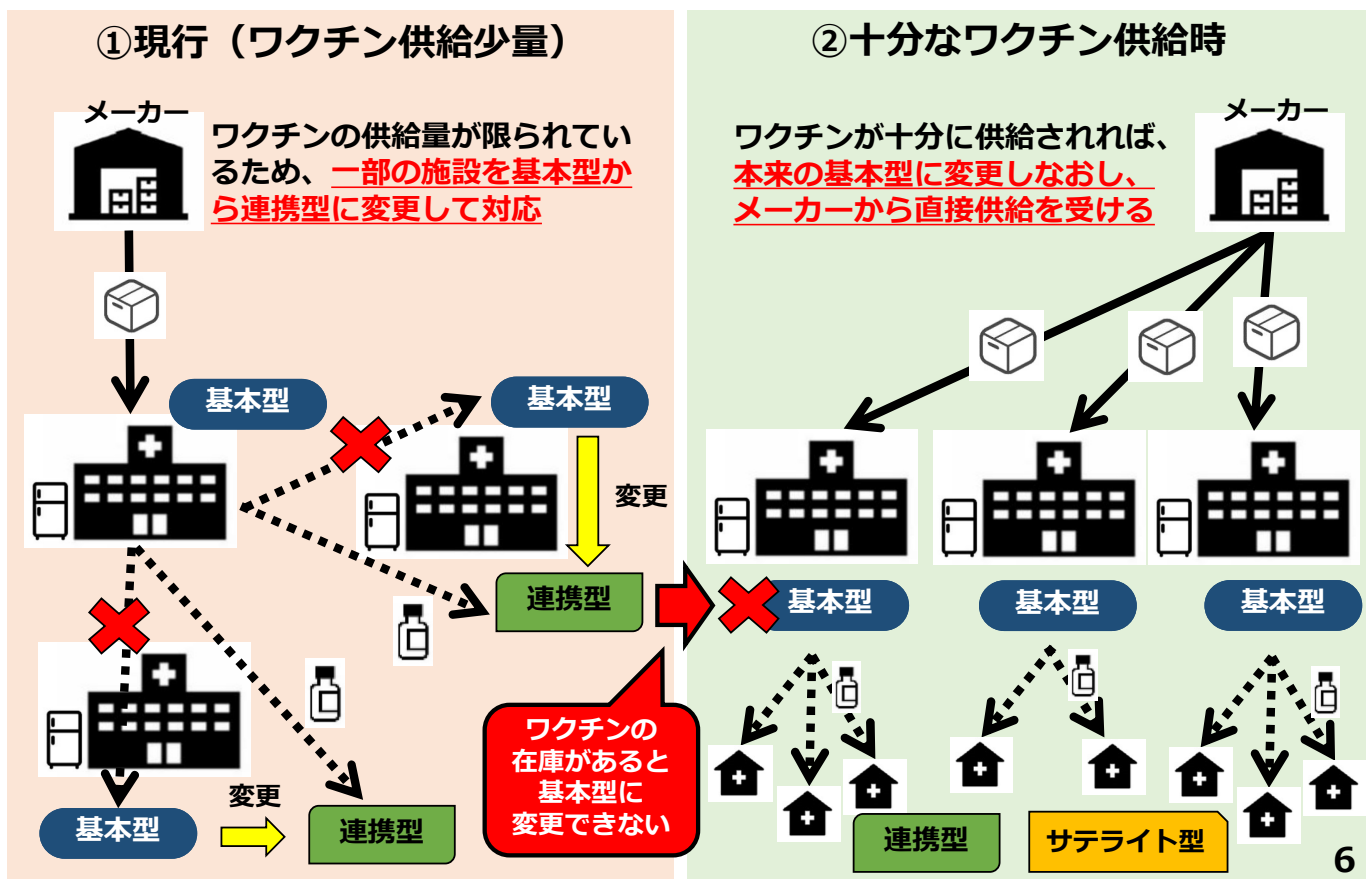
4

基本型から基本型へのワクチンの小分け



5

ワクチン供給量と配送体制の関係



6